0	×	0	×	0	×	0	×	0	×	0	×
	4	-~	1~	おく(抽象物を)	 置く *	彼	かれ	子ども	子供、こども		+
	<u>あ</u>	※一日あたり,- いちいち	−歯科医として ー々	※信頼を~, 支店 ~(して)おく	を~ ~(して)置く	辛うじて cal	かろうじて カロリー	この このうえない	此の この上ない		9
相いれない	相容(入)れない	一応	いちおう	※複合語は漢字	「据え置く」	かわいい	可愛い	好んで	このんで	随分	ずいぶん
相変わらず	あいかわらず 愛きょう. 愛敬	一概に著しい	いちがいに いちじるしい	おける 行う	於ける おこなう	かわいそう 代わる代わる	可愛想, 可哀相 かわるがわる	ご飯 こまごま	御飯, ごはん 細々	~ (に) すぎない (度が)すぎる	~ (に) 過ぎない (度が)過ぎる
挨拶	あいさつ	一段と	いちだんと	おしなべて	押し並べて	癌	がん	- Cよこよ - ~込む	~こむ	※おいたがすぎ	
間	あいだ	いち早く	逸早く	おそらく	恐らく	鑑みる	かんがみる	※差し込む, 申し		(時が)過ぎる	(時が)すぎる
相次ぐ(いで) あいにく	相継ぐ,あいつぐ 生憎	一番 いつ	いちばん 何時	(~する)おそれ ※~のおそれがあ	畏れ, 恐れ, 虞 5る	関して(関する) 頑張る	かんして がんばる	これ 頃	之, 是, 此れ ころ, ごろ	※5 年が過ぎる, すくう(液体を)	が過ぎ去りし 掬う
曖昧	あいまい	Ⅰ級, Ⅱ級	1級2級	恐れ	おそれ, 畏れ, 虞	元来	がんらい	根(歯の)→歯根		少なくとも	すくなくとも
あいまって あえて	相俟って 敢えて	※窩洞の分類 An 一気に	ngleの分類など いっきに	※恐れを抱く、恐 追って(副)	れ人る, 恋れ多い おって	7	<u> </u>	※根面,根分岐部に 今後	^{ま可} こんご	すぐに すくむ	直ぐに竦む
煽る	あおる	一挙に	いっきょに	オトガイ	頤 おとがい			今度	こんど	優れて,優れる	すぐれて,勝れて
上がる (敬語)	あ(揚, 挙)がる 上がる	一向に 一切	いっこうに いっさい	大人 おとなしい	おとな 大人しい	気後れ 気がかり	気遅れ 気掛かり	コンピュータ 混迷	コンピューター 昏迷	すごい 少し	凄い すこし
※おあがりにな			いっしょに	おのおの	各々,各	奇形児(禁)→肢体の		ル比	百还	すこぶる	頗る
あくまで	飽くまで	一斉に	いっせいに	おのずから	自ら	稀少	希少	5		ずさん	杜撰
揚げ句 上(挙, 揚) げる	挙げ句, あげく あげる	一層(副) ※名詞は別「1層	いっそう Monary Property Propert	おのれ おぼつかない	己 覚束ない	きたす きたる	来す 来る	 O歳	O才	勧める ※人・物の採用:	奨める を促す→「薦める」
※例をあげる、	表にあげるは例外	いったい	一体	面白い	おもしろい	きっかけ	切っ掛け	~(の)際	~(の)さい	ずつ	宛
あげる(敬語) ※ご飯をあげる	上げる	いったん 一時に	一旦 いっときに	主に おもむろに	おもに 徐に	気づく, 気がつく 気持ち	気付く, 気が付く 気持, きもち	OO材(薬剤以外) ※ボンディング材	OO剤 ·	すてき すでに	素敵,素的.素適 既に
あずかる(関係)	, 与る	いっぱい(副)	一杯	およそ	凡そ	急遽	急きょ	〇〇剤(薬剤)	OO材	すなわち	即ち(則)
あたかも	恰も (1-1+) 半+-こ <i>+</i> >()	※名詞は別「一村		および(接続)	及び	極力	きょくりょく	※エッチング、ホワ		素晴らしい	すばらしい
(には)あたらない ※驚くにはあた		一般(に) 一遍(に)	いっぱんに いっぺん(に)	及ぶ ※重度に及ぶ、~	およぶ には及ばない	(する,の)きらい きれい	(する,の)嫌い 綺麗 奇麗	幸い 遡る	さいわい さかのぼる	すべて ~済み	全て(総 _. 凡) ~すみ
~あたり(って)	~当たり(って)	否	いな	折	おり,折り	きわめて (副)	極めて	先(先に、先ほど)	さき	※記入済み、それ	いは済みだ
※企画にあたり OOあたり	, 開会にあたり 〇〇当たり	今(名) ※今の時代, 過去	いま の治療の今	※ ~ の折, 折から, おる	, 折しも, 折々 居る	極める ※見極め, 極め付	きわめる き	<u></u> 些細な 捧げる	ささいな ささげる	すみやかに すむ	速やかに 済む
※一人あたり、-	一軒あたり	今(副,接)	いま	~ (は)おろか	~(は)疎か			差し上げる	さしあげる	擦り合わせる	すり合わせる
辺り ※この辺り、その	あたり かれり	※今~,今現在, いまさら	~となった今 今さら、今更	※象牙質はおろか おろそか	・歯髄にまで 疎か			さしあたり(って) さしずめ	差し当たり(って) 差し詰め		のれ,擦り抜け,擦り う,擦りむく, 床擦れ
※この辺り, その 当たり前	か辺り あたりまえ	いまさら いまだ	今さら,今里 未だ	終わり	おわり	具合	具合い, ぐあい	さしすめ 差し支え	差し詰め さしつかえ	減る, 祭れ遅つ すり替える	o, 捺りむく,床捺れ 擦り替える
当たる	あたる	移民(禁)→海外移住	注者	※中見出し「おれ		楔(状欠損)	くさび(状欠損)	さして	然して	※すり切り, ごま	ますり, 手すり
※スポットが当 あたる	たる,当たり外れ 当たる	いや(いいえ) 嫌な,嫌だ(形動)	否 いや	#	j\	くしくも ください	奇しくも 下さい	差し向き さすが	さしむき 流石	すれすれ	擦れ擦れ
※(フグ,物事,(壬,万死)にあたる	嫌々	いかいや		•	※~してください	、 00をください	沙汰	さた		せ
宛 ※宛先. 〇〇宛	あて	否応なく いやがうえにも	いやおうなく 弥が上にも	かい ※生きがい、~し	甲斐がいかない	下す ※(腹,,敵,評価,:	くだす 決定)を下す	※取り沙汰 ご無法 さだめし	少汰, 音沙汰 定めし	精一杯	せいいっぱい
※宛元, 〇〇宛 あてもなく	当(宛) てもなく	いやに	嫌に	機して	がいして	※(服,) 畝, 評価, ご くぼむ	決定)を下9 窪む, 凹む	早急に	走めし さっきゅうに	稍一か 精神異常(禁)→精	
後	あと	いよいよ	愈々	外人(禁)→外国人		組み替える	くみかえる	さっそく	早速	精神薄弱(禁)→知	的障害
※その後、~した あながち	た後 強ち	要る いる	いる 居る	垣間見る 皆目	かいま見る かいもく	※「遺伝子組換え クモ膜	Ĺ」は例外 - 蜘網膜,くも膜	さばく ※「裁く」は漢字	捌く :	精神分裂病(禁)→行せいせい	統合失調症 精々
余すところなく	あますところなく	いろいろ	色々	返す返す	かえすがえす	~くらい、ぐらい	~位	さほど	左程, 然程	生息	棲息
あまた あまねく	数多 遍く, 普く	いわば いわゆる	謂わば 所謂	かえって (副) かかる	却って 斯, 罹, 係, 関	※それぐらい、お 比べる	よそ5gぐらい 較べる	様 ※生き様, 寂しげた	さま 5様 岩木様	是が非でも 咳	ぜがひでも せき
あまり(副,形動)	余り	いわんや	況や	~(に)かかわらず	~(に)拘らず	g	グラム	さまざま	様々	世知辛い	せちがらい
※余剰の意は漢 洗いざらい	字 あらいざらい	インチキ(禁)→ご	まかし	かかわる(動) ~かぎり	関(拘,係)わる ~限り	※SI 接頭辞(μ, π ~(して) くる	ı, c, k 等) をつける ~(して)来る	さも さらす	然も 晒す, 曝す	せっかく 石鹸	折角, 切角 せっけん, 石けん
あらかじめ	予め		 う	~かさり ※~するかぎり、)		※本来の意味では		さらに	型9, 嗪9 更に	一句殿 一絶対に	ぜったいに
あらかた	粗方			限る(動)	かぎる	くれぐれも	呉々も	去る(過去)	さる	切に	せつに
新たに 改めて	あらたに あらためて	上(名) ※山の上, 上のほ	うえ う	※現品に限り、う	ちの子に限って かく	1)	散々 三次元	さんざん 3 次元	切羽詰まるぜひ(副詞)	せっぱつまる 是非
あらゆる	凡ゆる	~うえ	~上	※「おの」と読む			,	産婆(禁)→助産婦	0 000	※名詞は漢字「	
表す(現)	あらわす	※そのうえ,明記		掻く(旧字)	掻く(新字)	~げ (接尾)	~気			全然	ぜんぜん
ありあり ありがたい	有り有り 有り難い	伺う うかがう	うかがう 窺う	欠く 格段	かく,闕く かくだん	※悲しげ、満足げ 痙攣	けいれん	L L	•	,	そ
※珍しいの意は	漢字	齲蝕(蝕は旧字)	う蝕	格別	かくべつ	稀有	けう, 希有	強いて	しいて		
ありがとう 有り様	有り難う ありさま	後ろ 薄々	うしろ うすうす	かけがえ ~カ月	掛け替え ~箇(ケ, カ)月	けだし けた違い(外れ)	蓋し 桁違い(外れ)	潮 時 しかし	しおどき, 潮どき 然し	〜沿い ※道沿い、山沿(~ぞい
ある	或る(在,有)	歌う, 謡う, 謳う	うたう	掛ける(物体を)	かける	結局	けっきょく	仕方(ない)	しかた(ない)	沿う	添う,副う
あるいは 併せて(副.接)	或は あわせて	~うち ※そのうち、三つ	~内 (中)	※服を掛ける,納 かける(抽象物を)	豆を掛ける 掛(懸) ける	結構 決して	けっこう けっして	じかに しかも	直に 而も	※(線路, 目的, 方 添う	方針) に沿う 副う, 沿う
案外	あんがい	内	うち	※保険(迷惑)を~		現に	げんに	叱る	しかる	*****	意、要望)に添う
暗に	あんに	※部屋の内,内に		重ねて	かさねて	厳に	げんに	しかるに	然るに	総じて	そうじて
	い	打ち~(接頭) ※~捨てる, ~解	うち~ ぱける, ~明ける	一 ~ 力所箇所(単独)	~箇(ケ, カ)所 カ所, ヶ所	研磨	研摩	じきに 色盲(禁)→色覚異常	直に I	錚々たる 早々に	そうそうたる そうそうに
		うつ	桂木 图3	※訂正箇所,該当	箇所		_	しきりに	頻りに	相当	そうとう
いい 言い換えれば	良い いいかえれば	※うっ血, うっ滞 うつぶせ	うっとうしい うつ伏せ、 俯せ	かすかに 風邪	微かに かぜ	個	ケ	仕組み 歯垢→プラーク	しくみ	掻(旧字)爬 素っ気ない	掻(新字) 爬 そっけない
言う(発言する)	いう	鵜呑み	うのみ	片~(足,手,目)(禁)→片方の~	ご~(接頭)	御~	至極	しごく	その	其の
※~と言われて ~いう	いる ~言う	羨ましい ~(し)うる	うらやましい ~(し)得る	~ (やり) 方 方(人, 方向)	(やり) かた かた	こいねがう こうこう	希(冀 請い願)う 煌々	子細(に) 次第	しさい,仔細(に) しだい	そのうえ そば	その上 傍, 側
~いっ ※~という場合		~(し)うる ※獲得の意では		※偉い方,読者の	方々, 西の方	こうこう 交叉(遺 伝子 の)	交差	※次第に, ~し次	第	そびえる	聳える
言うまでもなく いぇ ビキ	いうまでもなく 言え ビキ <i>(</i> 雑キ)	上の空	うわのそら	~方(接尾) ※生生 あかた	がた -	亢進(生体機能の)	高進,昂進	従う	したがう	染出し	染め出し tm±
いえども いかが	言えども (雖も) 如何	うわべ 云々	上辺 うんぬん	※先生方, あなた; 硬い(歯科材料)	万 固い,堅い	※甲状腺機能亢進 被る	証 こうむる,蒙る	※増えるに従って したがって(接)	, 従える 従って	そもそも それ	抑も 其れ
いかに	如何に			~ (し) がたい	~ (し) 難い	超える	越える	支度	仕度	それぞれ	夫々
活かす ※命に関する場	生かす,いかす 合は「生かす」		え	※想像しがたい(! ~ (に) 難い	動詞連用形+) ~ (に) かたい	※想像, 限界, 1万 越える	i人,記録,制限時間 超える	したためる しつけ	認める 躾, 仕付	それゆえ 揃う	それ故 そろう
いかん	治は「生かり」 如何	えてして	得てして	※想像に難くない	`	※山, 障害, 一線,		実際	秩, 江内 じっさい	捌つ 存ずる	そろう ぞんずる
いきおい(副)	勢い	~(し)えない	~(し)得ない	かたがた	旁々	ごく .e.+81+	極く	実に	じつに		
※名詞は漢字 ~(て)いく	~(て)行く	7	お	※お礼かたがた 片づく、片がつく	片付く、片が付く	心がけ 試みに	心掛け こころみに	実は し尿	じつは 屎尿		た
※動詞連用形に	:つく場合			~ (の) かたわら	~ (の) 傍ら	~(に)越したこと	~(に)こしたこと	しばしば	屡々	第一	第1
行く いくばく	いく (ゆく) 幾 何	お~(接頭) おいおい	御~ 追い追い	~ (し) がち かつ	~ (し)勝ち 且つ	こしらえる こぞって	拵える 挙って	しばらく 痺れる	暫く しびれる	※第一に,第一大 大概	大臼歯 たいがい
いくぶん	幾分	おいて	於いて	脚気	かっけ	御存じ	ごぞんじ	渋々	しぶしぶ	たいした	大した
いくら	幾ら 此か	往々に	おうおうに	括弧かつて	かっこ 営て	答える, 応える ごちそう	こたえる 細 助士 ご助士	しまい	終い,仕舞い じゅうじゅう	たいして ~ (に) 対して	大して ~ (に) たいして
いささか いさめる	些か 諫める, 諌める	大いに 覆う	おおいに おお (被) う	かつて 叶う、敵う、適う	嘗て かなう	こちそう ~こと	御馳走,ご馳走 ~事	重々 充填(旧字)	しゆうしゆう 充填(新字)	~ (に) 対して 大丈夫	~ (に) たいして だいじょうぶ
萎縮	委縮, 畏縮	おおかた	大方	必ず	かならず	※~ということ、	これらのこと	※補填,填塞等,	すべて填は旧字	大切	たいせつ
いす いずこ	椅子, イス 何処	大袈裟 大雑把	おおげさ おおざっぱ	かなり かねて	可成り 予て	事(出来事) ※事の重み、事か	こと (事だけに, 事柄	十分 上手	充分 じょ う ず	たいそう だいたい	大層 大体
いずれ	何れ	大っぴら	おおっぴら	構う	かまう	~ごと	~毎	丈夫	じょうぶ	たいてい	大抵
依然 いたす	いぜん 致す	大まか おおむね	おおまか 概ね	※子どもを構う。 ~かまわない	なりふり構わず ~構わない	ごとく ことごとく	如く 悉く	植物人間(禁)→植物 諸所	状態 しょしょ	だいぶ (ん) たいへん (副)	大分 大変
いたずらに	徒に	おおよそ	大凡, 凡そ	~かまわない ※~しても(しよ		事ごとに	ことごとに	徐々に	じょじょに	大変(名, 形動)	たいへん
いただく	頂(戴)く	おかげ	お蔭	噛み付く	咬み付く	ことさら	殊更	所詮	しょせん	※国家の大変, そ	それは大変だ
いたって(副) 至る	至って いたる	※おかげさまで 犯す,侵す,冒す	おかす	~かもしれない 痒い	~かも知れない かゆい	ことのほか	殊に 殊の外	しらじらしい 滲出	白々しい 浸出	絶えず(副) 絶えて(副)	たえず たえて
	至る所, 至らない	置く(物体を)	おく	仮に	かりに	言葉	ことば	蕁麻疹	じんましん	(するに)堪えない	

0	×	0	×	0	×	0	×	0	×	1 0	×
互いに	たがいに	的確(的中)		賑やか(わう)	にぎやか(わう)	ひとまず	 一先ず	まとめる	纏める	厄介	やっかい
たかが知れる	高が知れる	できる	出来る	~(し)にくい	~(し)難い	一人,独り	ひとり	真似	まね	やはり	矢張り
高をくくる	たかをくくる	手はず	手筈	二, 三の	2, 3 <i>0</i> 0		可能な場合は漢字	麻痺	まひ	やまやま	山々
たくさん	沢山			睨む	にらむ	ひとりでに	独りでに	まま	侭	やむをえない	已むを得ない
巧みに	たくみに		لح	にわかに	俄に	独り善がり	ひとりよがり	摩耗	磨耗	やや	稍々
だし	出汁				L	ひとわたり	一渡り	まもなく	間もなく	ややもすれば	動もすれば
多少	たしょう	問合せ先	問い合わせ先	8	<u>a</u>	非難	批難	丸ごと	まるごと	やる	遣る
確かに たそがれ	たしかに 黄昏	※新製品, インフ 当然	/オメーンョン禰 とうぜん	抜きんでる	ぬきんでる	百姓・農夫(禁)→農 糜爛	意家の人・農氏 びらん	丸々 まれ	まるまる 稀	※やり方、読んで 和らぐ	だる やわらぐ
ただ	典音 唯, 只	ヨ杰 とうてい	到底	めれぎぬ	濡れ衣	翻って	ひらん ひるがえって	」	まん(が)いち	かい(歯科材料)	柔らかい
たたえる	称える, 讃える	とうとう	到頭	00/000	MIN OT	広がる	拡がる	真ん中(前)	まんなか	+>(/3 0 ((20)14-19)1-1/	X-5/8 V
叩く	<i>たたく</i>	~(の)とおり	~(の)通り	†	a	顰蹙	ひんしゅく	2001 (12)		K	Þ
ただし	但し	※図に示すとお	IJ	_		1		ä	7		
但し書き	ただし書き	○通り	Oとおり	懇ろ	ねんごろ	Ž	5,			憂うつ	憂鬱
ただちに	直ちに	※3 通りの方法		年齢	年令			~み (接尾)	~味	優に	ゆうに
00たち(私たち)	OO達	と(に)かく	兎(に)角			~風	~ ふう	※弱み,厚み(新魚		悠々	ゆうゆう
たちどころに	立ち所に タナ	~(する) とき 味た	~(する) 時 トキャリ	0)	※洋風、学者風 ~(の)ふうに	~(の)風に	み~(接頭) ※み霊, み代	御~	故(名詞) ※故あって,故な	ゆえ
たちまち建前	忽ち 建て前, たてまえ	時折 ときたま	ときおり 時たま	 脳振盪	脳振とう		知らないふうに	、 見いだす	見出す	※ 飲めつ C, 敢な 一~ ゆえ	、1900 故
たとい	煙 C 削, た C よん	ときどき(副)	時々	のける	除(退)ける	一般と がりぶり、	ふ化	みぎり	砌	※それゆえ,能力	
たとえ(副)	例え	時々(名詞)	ときどき	後	のち	俯瞰	俯観 ふかん	見事	みごと	ゆえに	故に
たとえば	例えば	※時々の話題、そ	の時々で変化する	※抜歯の後, その	後	賦形	付形	みずから	自ら	ゆえん	所以
例える	たとえる	ときに	時に	のち(副)	後	無様,無精,無粋	不様,不精,不粋	みずみずしい	瑞々(水々)しい	歪む	ゆがむ
※例えて言えば、		金切れる	とぎれる	※晴れのち曇り	0+1715/470	ふさわしい	相応しい	みだりに	妄(濫)りに	ゆく(いく)	行く
たび ※このたび、ひと	度 v+-1.v	特殊学級→養護学術 特に	紋 とくに	後ほど 則る	のちほど, 後程 のっとる	不十分 再び	不充分 > t-t-1	道 見つける	路, 途, 径 見付ける	~(して)ゆく ゆくゆく	~(して)行く 行く行く
たびたび	.たい 度々	行に どこ	何処	則つ 延べ	のっとる のべ	一番段	ふたたび ふだん	見どころ	見所	歩くゆく 委ねる	かだねる
多分	_{及々} たぶん	とこしえ	河処 常(長) しえ, 永久		••	^{国权} ※「~の努力」は		兄ところ みなす	兄的 見做す,見なす	ゆるり	緩り
食べ物	食物	ところ(抽象)	所, 処	l	t .	普通	ふつう	見栄え	見ばえ、見映え	[
※食物は「しょく	くもつ」	※~したところ、	そういうところ			踏まえる(て)	ふまえる(て)	見よう見まね	見様見真似		t .
たまたま	偶々	所(場所)	ところ, 処	徘徊	御	腐爛	腐乱	(物事が)みられる	見られる		
たまる(プラーク)	溜まる	※遠い所, 所変わ		ばい菌	黴菌	~(の)ふり	~(の)振り	※実際に見る場合		良い、善い	よい
ため 駄目	為 だめ	ところが ところで	所が 所で	※可能なら「微生 排泄	Ξ物」「細菌」等に 排せつ	※知らぬ~, 他人(O振り(素, 身, 手)	の〜, 思わせぶり ○ぶり	見る, 観る, 診る ~(して)みる	みる ~(して)見る	※頭が良い、操作 ~よい	性が良い ~良い
駄目 だれ	7こ 8) 誰	ところで ところどころ	所で 所々	排泄 生え替わる(歯が)	排せつ 生え変わる	│ ○振り(素, 身, 手) │ ~ぶり	○ふり ~振り	·-(し <i>いか</i> る	・・(しく)兄句	~よい ※~してよい.~	
垂れる	誰 滴れる, たれる	閉じる,綴じる	とじる	はがき	葉書、ハガキ	※久しぶり、〇年		ă	b	~(の)ように	~(の)様に
炭疽	炭そ	途絶える	とだえる	はかどる	捗る	奮って	ふるって		=	ようやく	漸く
だんだん(副)	段々	途端	とたん	図らずも	はからずも	振る舞い	ふるまい	むしろ	寧ろ	余計	よけい
断トツ	ダントツ	とっさ	咄嗟	計る, 量る, 測る	はかる	浮浪者(禁)→ホーム	ムレス, 路上生活者	難しい	むずかしい	由	よし
単に	たんに	突然	とつぜん	図る, 諮る, 謀る	はかる			無駄	むだ	良(善)し悪し	よしあし
	5	整(調) える とどめる	ととの(斉)える 止める (留)	育む 漠然	はぐくむ ばくぜん		`	むなしい 旨	空(虚) しい	よって 呼ぶ	因って よぶ
•	b	とはいえ	正める(留) とは言え	漢然 莫大	ばくだい	ページ	頁	百 むやみ	むね 無闇, 無暗	呼ふ ※~と呼ばれる	よか
 知恵遅れ・低能(禁	(1)→知的暗宝者	※とはいうもの		えへ 剥離(剥は旧字)	はくり	下手	人た	無理(やり)	無間, 無間 むり(やり)	よほど	余程
~(に)ちがいない		止めどなく	とめどなく	歯応え	歯ごたえ	別して	べっして. べして	無論	むろん	よりどころ	拠り所
違う	ちがう	00ども	OO共	はさみ	鋏 ハサミ	別段	べつだん			寄る辺	寄るべ
※色が違う、違い		※私ども、野郎の		挟む	はさむ	別に	べつに	8	め	よろしく	宜しく
近々	ちかぢか	ともども	共々	はし	箸	別々	べつべつ	=	_		
近づく 逐一	近付く ちくいち	伴う ともに	ともなう 共に	初め ※中見出し「はじ	はじめ	辺 ※この辺のことは	~ ん	~め(長め) ~目(二人目)	~目 ~め		ò
ちなむ、ちなみに	ろくいら 因む、因みに	捉える	とらえる	(を)はじめ	んだい は成石 (を)初め		★ 偏平	銘々	めいめい	 らい病(禁)→Oハン	カン病
痴呆症→認知症	д 0, д-7, -	※意味を捉える。		※院長をはじめ(Ain 1	riiu i	メインテナンス	メンテナンス	006(hh6)	OO等
註(脚註の場合)	注	捕らえる	とらえる	初めて(副)	はじめて	lä	ま	m	メートル		
ちょうど	丁度	取り~(接頭)	とり~	(~して)初めて	(~して)はじめて				n, c, k 等) をつける	, i	J
ちょっと	一寸	※取り(まとめ,		始める	はじめる	~(の)ほう	~(の)方	眼鏡	めがね		11.7
沈澱	沈殿	とりあえず とりえ	取りあえず 取り柄	※~を始める, ~ はず	し始める 筈	※北のほう, ~のI 茫然	はつかよい - 呆然 ぼうぜん	(を)めぐる(問題) ※回る, 囲む意は	巡る 漢字	罹患	りかん リットル
	2	とりわけ	取り分け	外れる	はずれる	膨大	泥大, ぼうだい	目指す	めざす	 立派	りっぱ
		取(採, 摂, 捕)る	<u>د</u> م	※町外れ、踏みか		類(旧字)	頬(新字)	目覚ましい	めざましい		, 5,0,
次いで	ついで		民を取る,食事を摂る	裸足	はだし			召し上がる	めしあがる	7	5
ついでに	序でに			はたして	果たして	ほか	他, 外	めちゃくちゃ	滅茶苦茶		
ついに	遂に		な	発酵	醗酵	※「た」と読ませ		めったに	滅多に	蝋(旧字)	蝋(新字)
つかむ	掴む		<i></i>	派手	はで	ポケット(歯周) →		めど	目途, 目処	※虫偏に鑞の右の	
○○付き	つき	ない(なし) ないし	無い(無し) 乃至	甚だ(副, 形容) はばかる	はなはだ 憚る	ほご ~(して)ほしい	反故 ~(して)欲しい	めまい めりはり	眩暈,目眩 減り張り	ろうあ 瘻孔	<u>聾</u> 唖 ろう孔
※尾頭付き, 折り ~つき	が試引さ ~付き	ないし 内々	ないない	ははかる	1年の ハブラシ		~(して)欲しい]法(買ってほしい)	面倒	めんどう	_{接孔} ※フィステルとも	
※目つき、顔つき		※「うちうち」:		歯磨き	はみがき	~(が)欲しい	ほしい	ل خرا بعمو		濾過	ろ過
次に	つぎに	萎える	なえる	羽目	はめ	※食べ物が欲しし			ŧ		. —
付く(接触の意)	つく	なお	尚	早々と	はやばやと	~ほど	~程				7
つく(抽象物が)	付く	なおさら	尚更				ど, すればするほど	申し上げる	もうしあげる		
※(実力, 花, 色,)		~(し)直す カ (見免)	~(し)なおす		<u></u>	ほど	程	申し訳	もうしわけ	わが	我が
~つく(接尾) ※がたつく,べた	~付く ·つく <i>ご</i> ナ-つく	中(具象) ※箱の中、家の中	なか	ひいては	延いては	※身のほど, ほど ほどほどに	良い,ほどなく 程々に	申す 毛頭	もうす もうとう	わかる 分かれる, 別れる	分か (判、解) る わかれる
作(創,造)る	つくる	なか(抽象)	- 中	引き続き	ひきつづき	ほとんど	殆ど	朦朧	もうろう	わきまえる	弁える
※抽象物の場合	は仮名も可	※環境, 状況のな	か, 三つのなかから	引く	ひ(曳, 牽, 惹)く	哺乳	ほ乳	もくろみ	目論見	~わけ(…ない)	~訳(…ない)
~付け NG 7/1/1 A 7	~づけ	なかでも	中でも		く,人柄に引かれる	ほぼ	略,粗	もし	若し	※わけにはいかな	
※〇日付け、今日		なかなか	中々, 仲々 シケ	日ごと	日毎ロデス	本当	ほんとう	もしくは	若しくは	技,業	わざ
続いて 綴る	つづいて つづる	長年 半ば	永年 なかば	日頃ま常に	日ごろ ひじょ う に	=	ŧ	もちろん 持つ (具体)	勿論 もつ	わざと わずか	態と 僅 か
綴る 都度	つど	ーキは 一中身	なかは 中味	非常に ひたすら	ひしょうに 只管, 一向	-	~	持つ(具体) もつ(抽象)	もつ 持つ	わゅか 煩う, 患う	_{俚か} わずらう
例及 努めて	つとめて	中身 ながら	中味 乍ら	ひたむき	点官, 一向 直向き	μm	マイクロメートル	もう(抽象) ※複合語例外(併		煩り、思り 私	わ9 6 7 わた (く) し
勤める(務,努)	つとめる	なかんずく	就中	引っ掛かる	引っかかる	※ミクロンは使用	せず	もったいない	勿体ない	~わたる	~亘る, 亙る
つながる	繋がる	情けない	なさけない	引っ掻く	引っかく	(する)間際	(する)まぎわ	もって	以て		1,3 カ月にわたって
常々	つねづね	なす	成す, 為す (5:44)	ひっきりなし	引っきりなし	誠に	まことに	最も	もっとも	渡る(動詞)	わたる
常につぎめく	つねに 味く	なぜ など	何故 等	単章 ※提合によってに	ひっきょう	まさしく まさに	正しく	もっとも	尤も 恵 c	※海を渡る, 風が _{割ゆに}	
つぶやく つまびらか	呟く 詳らか,審らか	」など │ ※「とう」と読む	-	※場合によっては ひっくり返す	いた振る 引っ繰り返す	勝る	正に 優る、まさる	もっぱら 下, 元, 本, 基, 許	専ら もと	割合に割に	わりあいに わりに
つもり	積もり	何	なに	日付	日づけ、日付け	まして	増して	基づく	もとづく	われ(われ)	我(々)
※そのつもり、心	づもり	何気ない	何げない	引張〇〇	引張り〇〇	真面目	まじめ	もともと	元々,本々	彎曲	湾曲, 弯曲
積もる	つもる	何しろ	なにしろ	※引張(応力, 強さ		まず	先ず ***	もとより	固より,素より		
※雪が積もる, 見		何とぞ	なにとぞ, 何卒 かにごん	引っ張る	引張る	ますます	益々 又	もの ※目体的な人物	者,物 体を表す場合漢字		
ツヤ ※光沢の意の場合	艶,つや 今(艶っぽいは漢字)	何分 何故	なにぶん 何ゆえ,なにゆえ	ヒト ※学術的に動物の	人, ひと) - 科として	また まだ	又 未だ	※具体的な人,物 もはや	体を表す場合漢字 最早		
/ ハノ山/ハマノボマノンの口	- (元) ハめV 16/天丁/	生もの	生物,なまもの	一方ならぬ	ひとかたならぬ	~(を)またない	ネた ~(を)俟たない	もらう	取工 貰う		
•	τ	 ~並み	~並,なみ	人さし指	人差(指)し指		をまつまでもない	漏れる	洩れる, もれる		
1		滑らか	なめらか	ひとしお	一入	または	又は	もろもろ	諸々		
提示(提出)	呈示(呈出)	倣う、習う	ならう	ひとしきり	一頻り	間違う	まちがう		L.	_	
丁寧	ていねい	ならびに	並びに	ひとしく(副)	等(斉) しく	真っ先に	まっさきに		þ	4	
手遅れ 手がかり	手後れ 手掛かり	なる なるほど	成る 成る程	ひとたび 一つ	一度 ひとつ、1つ	真っすぐ 全く	真 (ま)っ直ぐ まったく	やかましい	喧しい		
出来(名詞)	于街かり でき	なるほと 何	成る程 なん		可能な場合は漢字	至く 真っ当(な)	まつたく 全う(な)	やかましい 矢先	恒しい やさき		
※出来映え、上				一つひとつ	ひとつひとつ	全うする	まっとうする	易しい、優しい	やさしい		
できあがる	出来上がる		E	一通り(副)	ひととおり	~まで	~迄	~(し)やすい	~(し)易い		
											